

D-6 幼児期の遊具の選択について

山口女短大 野村 泰代

1. 遊びが生活の大部分を占める幼児期においては、遊具の選択は特に重要な問題である。すなわち、遊具は幼児の遊びの誘因となるばかりでなく、心身諸機能の発達を促す手だてとなる。そこで、各年令段階に応じた、個人的特質を伸ばす遊具が必要になるが、ここでは、各年令段階において幼児に最もよく用いられる遊具を調査するとともに、父親、母親がいかなる基準にもとづいて遊具を選択し、与えているかを知ろうとした。

2. 本学保育科学生 45 名から収集した「遊具の選択」に関する意見をもとに項目を作成した。この各項目について、4~5 才の幼児をもつ父親・母親各 150 名(20 才台~40 才台)に 5 件法によって評定させ、系列範ちゅう法を用いて尺度値を決定した。

3. 遊具の選択はほとんど母親に任され、父親の関心は低い。また、選択にあたって母親は遊具の色彩、形態を重要視するが、個々の幼児の特性や、子どもの側の要求を無視しがちであることが知られた。